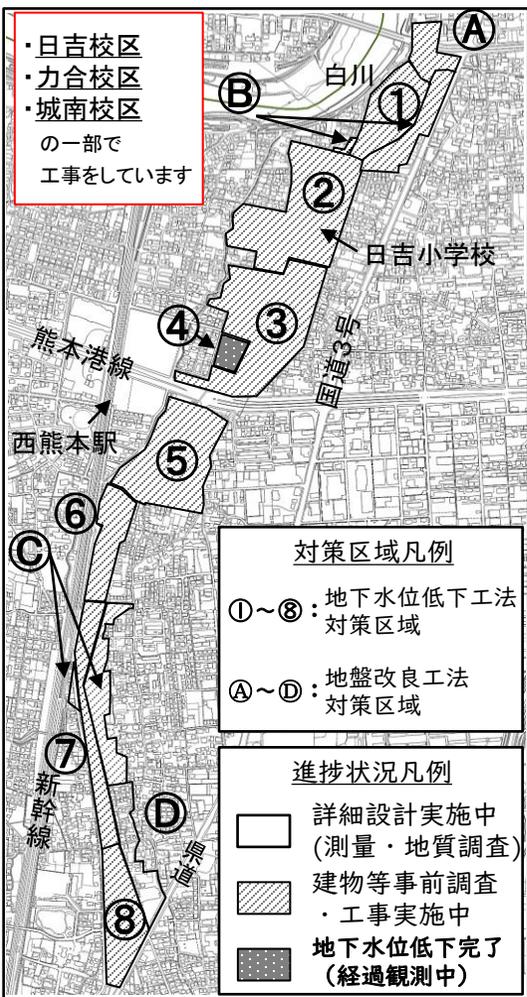


熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆さまに知っていただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めています。ちかみらい通信は、熊本市のホームページやLINEでも公開しています。パソコンやスマートフォンで是非ご覧ください!

二次元コードからHPをご覧ください



地下水位を低下させるための施設

「地下水位低下工法」では、鋼矢板等で遮水壁を設置した後、地下水を汲み上げて地下水位を下げる必要があります。そのための施設として各地区では、**集水管**や**井戸**を設置します。

<集水管>

管表面から内部に水が浸透する構造です。地下5m前後の深さに設置し、地下水を1か所に集めポンプで汲み上げます。なお、この集水管は地中でも潰れない程の強度を持っています。



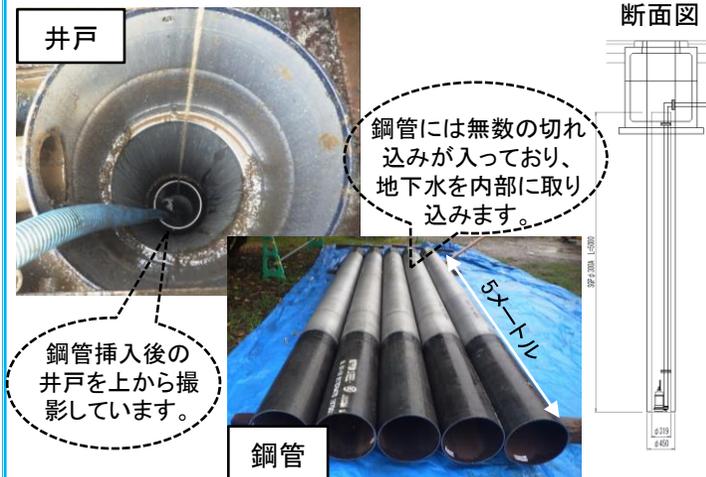
樹脂製の糸を固めた様な外観。



表面を
拡大すると...

<井戸>

地面から5～6mの深さまで掘削し鋼管を挿入した後、設置したポンプで地下水を汲み上げます。



熊本市公式LINE

ぜひ、熊本市公式LINEの友だち登録をお願いいたします! LINEアプリの「友だち追加」→「QRコード」で右の二次元コードを撮影し、ご登録ください。ちかみらい通信は「日吉校区」、「力合校区」、「城南校区」のいずれかを選択すると受信できます。

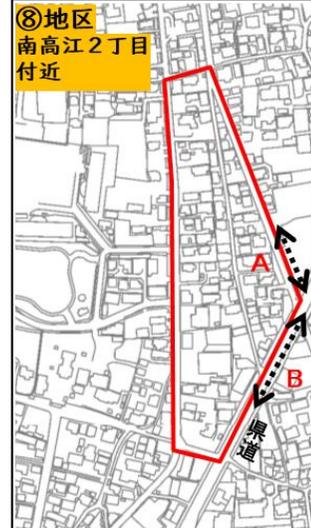
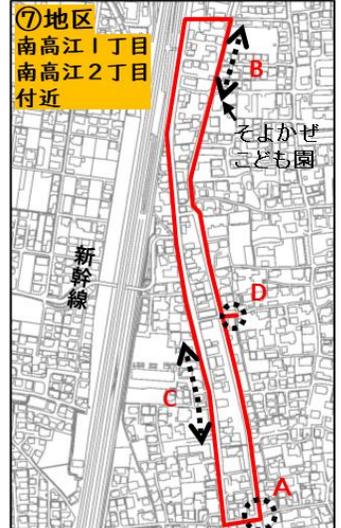
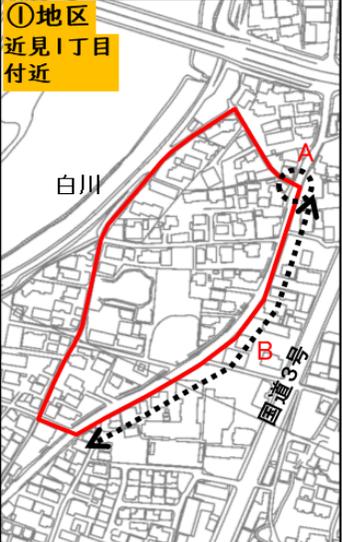


2.地下水位低下工法による交通規制(予定)について(令和3年11月)

現在、①、②、③、⑤、⑥、⑦、⑧の7つの地区で工事を実施しているため、多くの交通規制が行われています。今後の交通渋滞緩和のために、事前に令和3年11月の交通規制の予定についてお知らせします。周辺にお住まいの方には、詳しい交通規制の工施用チラシを適宜、施工業者より配布します。



工事や調査では、皆様にご不便をおかけいたします。引き続きご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



【交通規制について(破線箇所)】

- <①地区>
 - A 片側交互通行(昼間)
 - 遮水壁設置(薬液注入)
 - B 片側交互通行(昼間)
 - 集水管設置
- <②地区>
 - A・B 車両通行止め(24時間)
 - D 片側交互通行(昼間)
 - 遮水鋼矢板設置
 - C 片側交互通行(昼間)
 - 集水管設置
- <③地区>
 - A 車両通行止め(24時間)
 - B 車線減少(昼間)
 - 遮水鋼矢板設置
- <⑤地区>
 - A・B 車両通行止め(24時間)
 - 遮水鋼矢板設置
- <⑥地区>
 - A 車両通行止め(昼間)
 - 遮水壁設置(薬液注入)
 - B 車両通行止め(昼間)
 - 舗装工事
- <⑦地区>
 - A 車両通行止め(9時~16時)
 - 遮水壁設置(薬液注入)
 - B 車両通行止め(9時~16時)
 - 舗装工事
 - C 片側交互通行(24時間)
 - 集水管設置
 - D 車両通行止め(24時間)
 - 地盤改良(薬液注入)
- <⑧地区>
 - A 車両通行止め(昼間)
 - B 片側交互通行(昼間)
 - 遮水鋼矢板設置

※天候等の諸事情によって、施工箇所や施工時期が変わることがあります。